

第 1 5 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 7 年 8 月 3 1 日 午後 3 時

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 2 1 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
6 番	武田 康典	1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	塔尾 秀雄	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 0 名

議事録署名委員 7 番 塔尾 秀雄、 1 8 番 福田 孝義

議事日程

第 1	報告 (許可返上)	農地法第 3 条の規定による許可書の返上報告について
第 2	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 3	議案第 8 7 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 4	議案第 8 8 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 5	議案第 8 9 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 6	議案第 9 0 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・認定農業者)
第 7	議案第 9 1 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・一般農業者)

会 長 それでは、只今から、第 1 5 回農業委員会総会を開催致します。本日の出席委員は、2 1 名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長 本総会での議事録署名委員の指名をいたします。

議事録署名委員は、7 番 塔尾秀雄 委員、1 8 番 福田孝義 委員にお願いします。

会 長 審議に入ります前に、先月の議案第 8 6 号で農地利用集積円滑化事業規程変更に係る意見聴取の結果、意見を付して返答しておりましたが、この件に関し市長部局から修正がきておりますので、事務局から説明させます。

事務局 先月総会の議案第 8 6 号で意見聴取のあった農地利用集積円滑化事業規程の変更についてであります。J A 串間市大東分の事業規程において、一部、現状の団体名称と異なる表示があったことから、修正すべきとの意見を付して返答しておりました。その結果、事業規程第 4 条、第 2 5 条の団体名称の修正がなされ、平成 2 7 年 8 月 1 2 日付けで通知がありましたのでご報告いたします。以上でございます。

会 長 説明は、お聞きのとおりであります。
ただちに議案審議に入ります。

報告：農地法第 3 条の規定による許可書の返上報告について

会 長 まず報告、議案第 7 4 号で審議した農地法第 3 条の規定による許可書の一部返上がありましたので、事務局より説明させます。

事務局 農地法第 3 条の規定による許可書の返上について報告いたします。平成 2 7 年 6 月 3 0 日付指令第 1 4 号にて、農地法第 3 条の規定により許可された土地について、平成 2 7 年 7 月 1 0 日付で返上願書の提出があり、受理いたしました。返上の理由につきましては、申請人は許可後に登記手続きをしていたところ、以前より協議していたコインランドリーを譲り受けるにあたり、急きょ現在の敷地からの立ち退きが条件となったため、検討したところ返上願書農地の周辺は住宅が多く、集客が見込めることから今回、許可書の返上に至りました。また、返上された申請地については、今回の議案第 8 9 号受付番号 1 番のコインランドリー敷地として申請されていることを申し添えます。以上でございます。

報告：農地法第18条第6項の規定による届出について

会 長

次に、農地法第18条第6項の規定による届出について事務局より報告させます。

事務局

農地法第18条第6項の規定による合意解約について報告いたします。

今回の合意解約は3件でございます。内容といたしましては、賃借人の申し出等が、解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。以上でございます。

会 長

報告はお聞きのとおりであります。

議案第87号：農地法第3条の規定による許可申請について

会 長

次に、議案第87号は、農地法第3条の規定による許可申請について、であります。議案第87号、受付番号1番から5番の5件について、審議決定を行いたいと思います。それでは、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第87号、農地法第3条の規定による許可申請は受付番号1番から5番の所有権移転に関する5件であります。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第3条第2項各号の不許可の事由につきましては、

「第1号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第3号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第4号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第5号」 権利取得を含めた経営農地が、50アールに達しない場合

「第6号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合

「第7号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、であります。

今回の許可申請受付番号1番から5番の5件については、農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。また、受付番号1番の申請については、3名の共有地ですが、全員の同意を得ており、問題ありません。皆さんのご審議をよろしくお願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号1番と2番の2件の説明をお願いします。

8 番

議案第87号、農地法第3条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番と2番の所有権移転に関する2件であります。まず、受付番号1番につきましては、渡人は遠方居住で管理できない為、受人と売買するものです。受人は、申請地に露地野菜を作付する計画であります。受人については、ハウスピーマン、水稻、露地野菜を作付する専業農家であり、農業従事状況についても、本人と息子の従事がある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。農薬散布等については、充分配慮されとのことであり問題ありません。次に、受付番号2番の申請地は、受人住宅の隣接地に当たり、耕作利便が良いため規模拡大されとのことです。受人については、ハウス胡瓜、水稻、飼料作物を毎年作付されており、農業従事状況においても本人が200日以上、妻、子供の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。申請地には、飼料作物を作付する計画であり、周囲に農地も無いため問題ありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番と2番の2件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。本会議でのご審議方よろしくお願いします。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号3番から5番の3件の説明をお願いします。

2 1 番

議案第87号、農地法第3条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号3番から5番の所有権移転に関する3件であります。まず、受付番号3番と5番の受人は同一者でありますので、あわせて説明しますが、3番の渡人は高齢で管理できないため、叔父からの贈与であり、同じく5番は受人の規模拡大に渡人が応じるものです。譲受人の農業従事状況については、毎年、水稻とポンカンを栽培しており、本人、夫、義母の従事がある為、農業経営に必要な機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行って

いけると考えます。申請地には周辺と同じく水稻を作付する計画である為、問題ありません。次に、受付番号 4 番については、申請地は受人所有地の隣接地に当たり、ゴボウを作付する計画であります。農薬の使用についても十分配慮されるとのことであり問題ありません。譲受人の農業従事状況については、毎年、水稻とゴボウを作付しており、夫婦で従事している専業農家である為、農業経営に必要な機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。以上、市木地区委員会において、担当委員の報告を受け、受付番号 3 番から 5 番の 3 件について慎重審議してまいりましたが、農地法第 3 条の許可要件を満たしており何も問題ありません。本会議でのご審議方よろしくお願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今から、議案第 8 7 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件について、質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

無いようですので、議案第 8 7 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 8 7 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件については、許可することに決定します。

議案第 8 8 号：農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 8 8 号は、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 8 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 8 8 号、農地法第 4 条の規定による許可申請は受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。

農地法第 4 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集团的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地であ

る場合

「2号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実に認められない場合

「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号1番と2番の2件についての申請地農地区分は、農地法第4条第2項第1号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されますので、農地法第4条第2項1号ロには該当しておりません。

したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番と2番の2件につきましては、農地法第4条第2項各号に該当していないため、許可要件の全てを満たしていると思われま。皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に関連して、関係地区委員会から調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より受付番号1番と2番の2件の説明をお願いします。

8 番

議案第88号、農地法第4条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番と2番の2件でございます。まず、受付番号1番につきましては、申請人は、現在、借家住まいをしておりますが、子供の成長とともに手狭になったことから申請地に住宅を建築する計画であります。宅地造成に当たっては、周囲にブロックを積み土砂流失に努め、生活排水については、合併浄化槽を経由し市道側溝へ流す計画であり、周辺への影響はないものと考えます。次に、受付番号2番については、申請人は経営する葬祭場の駐車場が不足していることから、申請地を駐車場として利用するため申請するものです。周囲には農地はなく、雨水については、傾斜をつけ南側側溝へ流す計画であり、周辺に影響を与えることはないと考えます。以上、福島地区委員会において、受付番号1番と2番の2件を慎重審議してきましたが、農地法第4条の許可要件を満たしているため、何

も問題ありません。ご審議方宜しく申し上げます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第 88 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 88 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 88 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 89 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 89 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 89 号、受付番号 1 番から 11 番の 11 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 89 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 4 番と 7 番を除く受付番号 1 番から 11 番の所有権移転に関する 9 件と、受付番号 4 番と 7 番の使用貸借権の設定に関する 2 件の合計 11 件であります。

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実に認められない場合

「４号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号１番の１件と４番から１１番の８件の申請地農地区分につきましては、農地法第５条第２項第１号イにあります、農用地域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第２種農地」に区分されますので、農地法第５条第２項１号ロには該当しておりません。次に、受付番号２番と３番の２件の申請地農地区分につきましては、農地法第５条第２項第１号ロにあります、集団的に存在する農地、その他良好な営農条件を備える「第一種農地」であることから不許可の事由に該当することになります。しかし、今回の申請は美容室兼個人住宅への転用であり、農地法施行令第１０条第１項第２号及び農地法施行規則第３３条第１項第４号にあります「住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるもの」に当たることから、申請地は第一種農地であります、不許可の例外に該当しています。したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号１番から１１番の１１件につきましては、許可要件を全て満たしていると思われるので、皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より受付番号１番から８番の８件の説明をお願いします。

８ 番

議案第８９号、農地法第５条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号１番から８番の８件でございます。まず、受付番号１番については、受入はコインランドリーを譲り受けるにあたり、移設する必要があったため、集客が見込める申請地に建設する計画です。隣接地との境界にはブロックを設置し、１～２ｍ程度距離をおいて建設されます。又、雑排水は合併浄化槽を通じ、市道側溝へ流す計画であり問題ありません。次に、受付番号２番と３番については関連議案でありますので、合わせて報告しますが、受入の妻が美容室を開業するにあたり、申請地は立地条件が良いことから申請地に建設する計画であり、併せて駐車場敷地が必要なため申請するものです。建設に当たり申請地は１ｍほど隣接市道より高いため同程度に造成し、隣接農地にはコンクリートブロックを設置し、土砂流出を防止します。また、生活雑排水については、排水溝を設置して

流出防止に努められるため何ら問題ありません。次に、受付番号4番につきましては、申請人は、今後の生活設計に備えて、副収入を確保するため売電事業を計画し、申請地に太陽光発電施設を設置する計画です。申請地の西側と北側に住宅があり東側には市道が面しております。地盤には全面コンクリート舗装し、土砂流出防止に努め、雨水は隣接側溝に流す計画であります。隣接する農地所有者にも了解を得ており、何ら問題ありません。次に、受付番号5番につきましては、先ほど報告しました4条との関連であります、申請人は隣接地に住宅を建設するにあたり、車庫及び来客者用駐車場が必要なため、今回申請するものです。住宅と同様に周囲にはブロック塀を設置し土砂流出防止に努め、雨水は隣接側溝へ流す計画であり、何ら問題ありません。次に、受付番号6番につきましても、先ほど報告しました農地法第4条受付番号2条の関連でございますが、同じく受人の経営する葬祭場の駐車場が不足していることから、申請地を駐車場として利用するため今回申請するものです。周囲には農地はなく、雨水については、傾斜をつけ南側側溝へ流す計画であり、周辺に影響を与えることはないと考えます。次に、受付番号7番につきましては、受人は現在家族4人で借家に居住しておりますが、子供の成長とともに手狭になってきたことから申請地に住宅を建設し、又、電気工事業を開業するため事務所及び倉庫を併設する計画です。受人は11月1日から造成工事にかかり翌年の3月20日までに建設工事を完了させたい計画であります。申請地周辺は宅地化が進んでいる地域であり、周囲に農地はないため影響はないと考えます。又、境界にはブロックを設置し、土砂流失防止に努め、雑排水については、合併浄化槽を経由し水路へ流す計画であり問題ありません。尚、境界については紛争が生じないよう十分注意していただくことをお願いしたところです。次に、受付番号8番につきましては、申請人は今回申請地の隣接地で貸家住宅を経営しており、中心市街地に近く需要も見込めることから今回新たに貸家住宅を増設するため申請したものです。工事については、10月1日から造成工事にかかり翌年1月31日には完了する計画であります。又、境界にはブロックを設置し、土砂流失防止に努め、雑排水については、合併浄化槽を経由し市道側溝へ流す計画であり、転用による周辺農地への影響はないため問題ありません。尚、境界については紛争が生じないよう十分注意していただくことをお願いしたところです。以上、福島地区委員会において、受付番号1番から8番の8件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ございません。ご審議方宜しく申し上げます。

会長

次に、本城地区委員会より、受付番号9番から11番の3件の説明をお願いします。

17番

議案第89号、農地法第5条の規定による許可申請について、本城地区は受付番号9番から11番の3件で
ございます。まず、受付番号9番については、申請地は周囲を山林に囲まれ、日照条件が悪く、耕作できな
い為、山林として管理していく計画であります。周辺も山林化しており排水についても自然浸透で問題あり
ません。次に、受付番号10番につきましては、受人居住の住宅が道路拡張に伴い立ち退きに成ったため、
畜産経営に必要な農業用倉庫を建てるのにも十分な敷地面積がある申請地に建設する計画です。周囲にブロ
ック塀を設置し、土砂流失防止に努め、生活雑排水については、下水道につなぐ計画であり問題ありません。
次に、受付番号11番につきましては、受人は、今後の生活設計を図る目的で申請地を購入し、山林として
管理していく計画であります。申請地には既に杉が植林されており、10年後に伐採し、その後隣接地に配
慮しながら植林・管理していく計画であります。以上、本城地区委員会において、受付番号9番から11番
の3件を慎重審議してきましたが、農地法第5条の許可要件を満たしているため、何も問題ございません。
ご審議方宜しくをお願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。これより、議案第89号、受付番号1番から11番の11件について質
疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第89号、受付番号1番から11番の11件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第89号、受付番号1番から11番の11件は、許可相当とし、意
見を付して県へ進達いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長

次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります
前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成27年8月分につきましては、串間市長より平成27年8月19日付で、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。内容につきましては、議案第90号・受人が認定農業者である利用権設定が8件・面積が19,087㎡、議案第91号・受人が一般農業者である利用権設定が4件・面積が11,060㎡であります。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。それでは、ただいまから市からの提案について、審議に入ります。

議案第90号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分

会 長

議案第90号は、農用地利用集積計画の利用権設定・認定農業者分について、であります。それでは、議案第90号、受付番号1番から8番の8件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第90号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分は、受付番号1番から8番の8件であります。この8件について、説明いたします。「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第18条第3項、

第1号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域自業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。

第2号) イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。

第2号) ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。

であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号1から8番の8件については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。又、受付番号1番の1件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第18条第3項第4号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。受付番号1番の1件につきましては、全員の同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号１番の１件の説明をお願いします。

８ 番

議案第９０号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分、福島地区は受付番号１番の１件であります。この１件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、市木地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番の１件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号２番から８番の７件の説明をお願いします。

２１番

議案第９０号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分、市木地区は受付番号２番から８番の７件であります。この７件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、市木地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号２番から８番の７件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第９０号、受付番号１番から８番の８件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長	<p>ないようでございますので、議案 9 0 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
会 長	<p>異議なしということでありますので、議案第 9 0 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件について、決定して市へ通知します。</p>
会 長	<p>議案第 9 1 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分</p> <p>次に、議案第 9 1 号は、農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分について、であります。それでは、議案第 9 1 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 9 1 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、（利用権設定、一般農業者分）であります。今回の譲受人が一般農業者分につきましては、受付番号 1 番から 4 番の 4 件であります。この 4 件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番から 4 番の 4 件につきましては、議案第 9 0 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われま。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます</p>
会 長	<p>説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より、受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。</p>
8 番	<p>議案第 9 1 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、福島地区は受付番号 1 番の 1 件でございます。この 1 件の全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番の 1 件においては、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。</p>

会 長

次に、市木地区委員会より受付番号２番から４番の３件の説明をお願いします。

２１番

議案第９１号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、市木地区は受付番号２番から４番の３件でございます。この３件の全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、市木地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号２番から４番の３件においては、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。只今から、議案第９１号、受付番号１番から４番の４件について、質疑に入ります。質疑はございませんか。

（ なしの声 ）

会 長

ないようでございますので、議案９１号、受付番号１番から４番の４件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第９１号、受付番号１番から４番の４件について、決定して市へ通知します。以上で、先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。慎重・審議、誠にありがとうございました。